

令和6年度 決算 報告

◆問合せ先 財政課財政係
(☎40-0253)

令和6年度の一般会計の概要

歳入総額 189億2,085万円
歳出総額 179億4,810万円

歳入歳出差引額 9億7,275万円



前年度までの繰越金等と、
基金への積立による増減分を除く

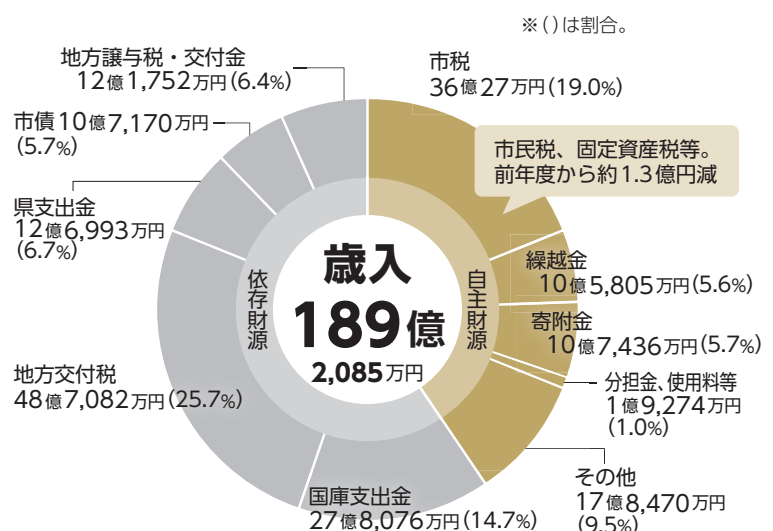
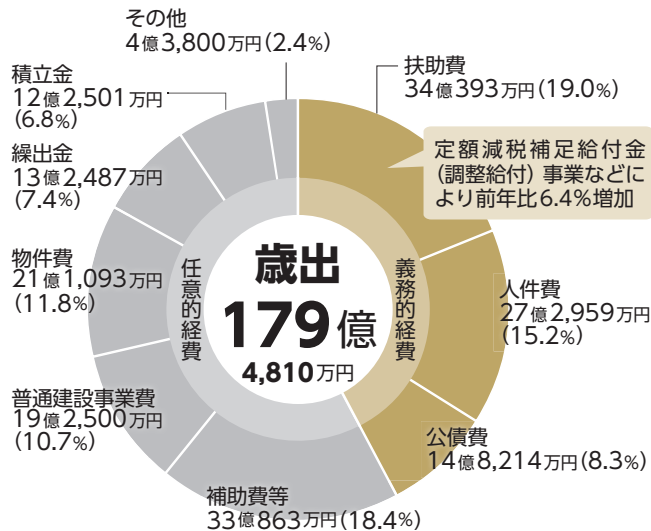
実質単年度収支 ▲1億1,530万円

令和6年度の南陽市の一般会計の概要をお知らせします。
歳入と歳出の差し引きである歳入歳出差引額は9億7,275万円、そこから繰越金、基金積立、取り崩しを除いた実質単年度収支は、1億1,530万円の赤字となりました。
これからも限られた財源を上手に使い、市民生活に直結する事業を将来にわたって持続していくよう取り組んでいきます。

一般会計

歳入・歳出ともに、前年度から減少

※千円の位は四捨五入しています。



歳出決算額は179億4,810万円。前年度から1億8,449万円減少しました。このうち義務的経費では、人件費や補助費、公債費が増加。補助費は、定額減税補足給付金(調整給付)事業によるものです。任意的経費では、普通建設事業費が庁舎省エネ設備等導入改修工事の終了などにより4.3%減少、物件費がふるさと納税事業などにより4.8%増加し、前年度比は全体で2億8,754万円(2.7%)減少しています。

歳入決算額は189億2,085万円で、前年度から2億6,979万円減少しました。このうち自主財源は、前年度比で1億8,061万円減少。市税が前年度比で1億3,270万円減少したほか、繰越金、分担金及び負担金の減少が主な要因です。依存財源も前年度比で8,918万円減少。地方交付税が5,118万円、県支出金が4,837万円、市債が1億580万円減少したことが要因です。

特別会計

全ての特別会計で黒字決算

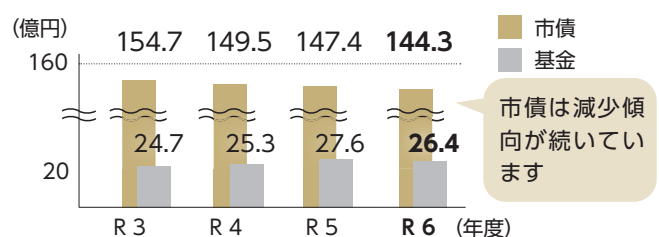
(単位は万円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引
国民健康保険(事業勘定)	31億8,217	31億7,878	339
国民健康保険(施設勘定)	163	163	0
財産区	1億5,199	1億4,704	495
育英事業	998	48	950
介護保険	36億7,610	34億8,972	1億8,638
後期高齢者医療	4億8,283	4億6,631	1,652

特別会計は、5会計(うち国保は2勘定)となっており、全ての特別会計で黒字決算となっています。歳入総額は75億470万円で、前年度より1億4,559万円(2.0%)増加し、歳出総額は72億8,396万円で、前年度より1億7,672万円(2.5%)増加しています。

市債・基金

市債残高は減少継続



市債残高は、前年度に比べ3億2,253万円減少しました。基金は前年度に比べ1億2,380万円減少しました。

財政状況について

令和6年度の実質公債費比率は13.2%、将来負担比率は107.6%で、いずれも国の定める基準を下回っています。また、実質公債費比率は、数値を変動させるような大きな要因はありませんでした。将来負担比率は、地方債現在高の減により7.1ポイント改善しました。